

「再犯防止×地方創生」トピックス 地方創生研究会を開催しました！

本年1月21日(火)及び22日(水)の2日間、愛知県において令和6年度地方創生研究会を開催しました。本年度は、国×自治体×民間が連携した再犯防止施策の推進を目的として実施し、会員自治体から首長7名を含む25名、法務省職員7名に加え、刑務所出所者等の更生を支援する「日本財団職親プロジェクト」に参加いただいている日本財団1名と職親企業26名にも出席いただきました。

初日は、名古屋市内を中心に触法障害者等の支援に取り組むNPO法人「くらし応援ネットワーク」による就労支援、居住支援の現場を視察するなどし、参加した首長からは、「民間企業との連携した取組を進めていきたい。」「企業と行政が両輪となって取組を進めていかなければならない。」等の感想をいただきました。

2日目は、愛知県瀬戸市に所在する瀬戸少年院において、院内の見学と研究協議会を行いました。これまで同研究会として少年院の見学をする機会がありませんでしたので、参加者は少年院の矯正教育や社会復帰支援の取組について関

心を持って見学していただきました。

研究協議会では、矯正と自治体の連携事例として、東京府中市から、昨年7月に開催したふるさと納税を活用した刑務所参観について発表いただきました。同取組では、矯正施設における再犯防止に向けた処遇・支援等について参加者が学ぶことができ、出所者を地域社会で受け入れていくための理解促進につながった旨を説明いただきました。また、職親企業からは、大阪市等で福祉事業に取り組まれている「株式会社寿寿」様から、出所者等の就労支援、職場定着率を高めるための取組等について発表いただきました。

今回の地方創生研究会では、国、地方自治体、民間団体それぞれが取り組む刑務所出所者等への支援について、相互に学ぶことができる貴重な機会となりました。本会を契機とし、三者が連携した新たな再犯防止・地方創生の取組が生まれていくことを期待しております。引き続き、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



記念写真



金沢市長による御発言



瀬戸少年院見学



研究協議会(府中市)

(事務局から)

本年度の地方創生研究会では、北は北海道網走市から南は分県豊後大野市まで、全国から計17自治体に御参加いただきました。昨年度とはまた違った形式、内容での開催となりました

が、いかがでしたでしょうか。本研究会が皆様にとって有益な情報交換、学びの場となるよう、来年度開催に向けて検討していきますので、御要望ありましたらぜひ事務局までお寄せください。

Revitalization そうせい × きょうせい Correction



Vol.08
2025 Winter

- 堺市の紹介
堺モデルの挑戦 ～シームレスな更生支援の構築～
- 堺市に所在する3施設の紹介
～さまざまな連携のカタチ～
- 「再犯防止×地方創生」トピックス
地方創生研究会を開催しました！

堺市の紹介

堺モデルの挑戦 ～シームレスな更生支援の構築～

堺市は、近畿地方の中部、大阪府の中南部に位置し、人口・面積が府内第二の政令指定都市です。

古代には日本最大の前方後円墳である仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥・古市古墳群が築造され、中世には海外交易の拠点として「自由・自治都市」を形成し、わが国の経済、文化の中心地として繁栄してきました。

戦後、臨海コンビナートや泉北ニュータウンの造成等を経て、80万人を超える人口を有する都市です。世界遺産をはじめとする類稀な歴史文化資源を大切にしながら、「未来を創るイノベティブ都市」として発展する都市をめざしています。

また、「ものの始まりなんでも堺」と呼ばれたように、鉄炮作製など技術・文化の発信地でありました。さらには、伝統産業である堺打刃物は、その抜群の切れ味と美しさから世界中のプロの料理人に愛用されています。

さて、全国的に見ても刑法犯認知件数の約半数を再犯者が占めている状況が続いており、再犯防止・更生支援を推進し、安全・安心な地域社会を構築することは自治体としても大きな行政課題の一つであると言えます。

本市には西日本最大の刑事施設である大阪刑務所をはじめ、西日本成人矯正医療センター、大阪少年鑑別所といった矯正施設や大阪保護観察所堺支部などが集積している全国的にも珍しい自治体です。

本市としても「再犯の防止等の推進に関する法律」（平成28年法律第104号）が公布されたことを受け、平成30年から大阪刑務所の分類審議室長にも策定委員に就任していただき、令和2年に「市町村地域福祉計画」に包含する形で「地方再犯防止推進計画」を策定しました。

本市の再犯防止推進計画において重点的に取り組む事項として、「立ち直りを支援する関係機関のネットワーク構築」を掲げています。立ち直し支援が必要な方の中には複雑化・複

合化した生活課題を有している方も少なからずおられ、多様な関係機関や民間ボランティア等が協働し、本人に寄り添った支援をしていく必要があります。同計画を策定したことを契機とし、本市も矯正施設をはじめとした様々な関係機関と再犯防止・更生支援に係る実践や取組を積み重ねていくことで、双方の理解と信頼を深めてきました。

そのような中、令和6年11月11日に大阪刑務所、西日本成人矯正医療センター、大阪少年鑑別所、大阪保護観察所、堺市保護司会連絡協議会、堺市更生保護女性会及び堺市の7者で「堺市における再犯防止及び更生支援の推進に関する連携協定」を締結しました。

本協定の目的は、本市における再犯防止・更生支援を一層推進することです。具体的な取組としては、矯正施設出所前後に支援が必要な方に対して、社会福祉法に基づく重層の支援体制整備事業の支援会議を活用するなどし、シームレスな更生支援の仕組みを構築することで早期かつ切れ目のない支援を実施します。

罪を犯した方も含めて誰一人取り残さない安全・安心な「堺」をめざし、引き続き矯正施設や関係機関と協働し、再犯防止・更生支援の取組を推進します。



「堺市における再犯防止及び更生支援の推進に関する連携協定」締結式



鉄炮鍛冶屋敷の外観（堺市有形文化財建造物）

堺市に所在する3施設の紹介

～さまざまな連携のカタチ～

○大阪刑務所

大阪刑務所は、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」に近い堺市堺区に所在する西日本最大の刑務所で、当所・西日本成人矯正医療センター・大阪少年鑑別所の3施設が隣接しています。最寄り駅から徒歩圏内にあり、施設の近くには、住宅地、高層マンション及びショッピングセンターがあるなど、市民生活の息遣いが聞こえる地域に立地しています。

当所では、堺市の伝統工芸である手織式緞通（ておりしきだんつう）を刑務作業に取り入れた技術の継承や、地域住民が参加可能な行事の開催、大規模災害時に施設の設備を開放する仕組みの整備など、地域社会に根ざした施設運営を行っています。

堺市と当所との関係において特筆すべきこととして、被収容者に対する社会復帰支援に係る法律が施行される以前から、堺市の保健・福祉部局との間で、被収容者に係る医療及び福祉的支援について協議・調整を重ねる中で、連携関係を築いてきたことにより、一歩踏み込んだ社会復帰支援の取組を実施していることが挙げられます。

さらに、本年度、発達上の課題を有する受刑者の特性に応じた処遇・社会復帰支援モデル事業を開始したことに伴い、令和6年11月18日、大阪府・大阪市・堺市・近畿地方更生保護委員会・大阪保護観察所・大阪矯正管区・大阪刑務所・西日本成人矯正医療センターの8者において「発達上の課題を有する受刑者に対する処遇・社会復帰支援モデル事業に係る協定」を締結しました。本事業では、当所の発達上の課題を有する者を一定数集約し、西日本成人矯正医療セン



「発達上の課題を有する受刑者に対する処遇・社会復帰支援モデル事業」協定締結式



西日本成人矯正医療センター新病室棟

ターに編成された多職種の職員から成るチームの連携協力のもと、特性に応じた処遇や、関係機関等と綿密に連携した社会復帰支援を行っています。

今後も、関係機関との信頼関係を一層強化し、被収容者の社会復帰支援に力を注いでいきたいと考えています。

○西日本成人矯正医療センター

西日本成人矯正医療センターは、令和6年4月1日付けで大阪医療刑務所から名称を変更しました。また、当センターは、令和元年から現地建替え工事が始まり、令和4年12月に新病室棟が、令和6年10月に庁舎棟、医療管理棟、多目的棟及び車庫鍛錬場棟の各棟がそれぞれ完成し、運用を開始しています。

当センターの被収容者は、釈放後も治療の継続が必要な場合が多く、帰住予定地の決定に際して、帰住予定先の自治体や医療機関等との調整を要することもあります。再犯防止、社会復帰の実現には、釈放後も病気の治療に集中でき、安心して社会で生活できる環境を整えることも必要となることから、引き続き、該当自治体や医療機関と連携を図っていきます。

○大阪少年鑑別所

大阪少年鑑別所では、「大阪法務少年支援センター」という名称で、子育てに悩む保護者、学校教諭、刑事施設等を出所した方、その立ち直りを支える福祉機関等の心理相談などの地域援助を行っており、今年でちょうど10年目となります。

堺市とは教育委員会・学校の協力を得て、子どもたちの健全育成の支援として、当所職員が、児童生徒に法教育授業を行ったり、逆に、当所に入所している子どもたちに、学芸員と堺市のPR担当ハニワ部長から「世界遺産の百舌鳥・古市古墳群等」の授業をしていただいたりするなど、相互連携を進めてきました。

今後も地域の安全・安心、「生きづらさ」を抱える方々のより良い暮らしのために、関係機関・団体、地域の方々と知恵を出し合い、一層役割を果たしていきたいと考えています。



堺市による世界遺産授業（堺市ハニワ部長）



旧堺燈台（明治10年に建築された洋式木造燈台）